

プラン策定の意義

- ▶ 新型コロナウイルス感染症により観光産業が深刻な影響を受ける中、様々な社会変化に対応した観光関連事業者の取組を強力に後押しし、持続可能な観光産業へと進化させることが必要
- ▶ 東京の観光産業振興の方向性を明らかにし、本プランに掲げる施策を推進することで、観光産業を再び成長軌道に乗せ、世界最高の「PRIME 観光都市・東京」を実現

基本理念

観光産業の復活と「サステナブル・リカバリー」の実現

- ▶ 本プランにおける施策を推進し、単にコロナ禍前に戻るのではなく、観光産業が活力を取り戻し、一層成長することで、都民生活や地域社会に潤いや豊かさをもたらす持続可能な回復「サステナブル・リカバリー」を実現

観光を取り巻く状況

- ▶ 三密を回避した旅行スタイルへの変化
- ▶ 社会のデジタル化がより一層進展
- ▶ 持続可能な観光への世界的な関心の高まり

計画期間

2022年（令和4年）度から2023年（令和5年）度まで

3つの戦略と7つの施策

基本理念の実現に向け、3つの戦略に基づき7つの施策を展開

戦略1 観光産業の活性化

- 施策1 観光関連事業者の経営力向上への支援
- 施策2 国内観光の活性化と国内外へのプロモーション
- 施策3 あらゆる旅行者が快適に滞在できる受入環境の整備

戦略2 社会変化等に対応した「新しい観光」の浸透

- 施策4 デジタル技術を活用した観光の推進
- 施策5 東京ならではの観光資源の磨き上げと新たな観光スタイルの浸透

戦略3 持続可能な観光の推進

- 施策6 地域・住民に寄り添った観光地域経営の推進
- 施策7 観光産業の持続的な成長に向けた基盤の強化

MICE誘致の推進

※ MICEにおいても、開催都市としての優位性を保つため、3つの戦略を踏まえた施策を展開

目指すべき将来像

A
(都民)

都民の観光への参画が促進され、旅行者を歓迎する気運が高まり、都民と旅行者との双方の満足度が高い観光都市

B
(経済)

長期滞在の旅行者やリピーターの増加、MICE開催などにより消費額が拡大し、観光による効果を都民が享受できる都市

C
(文化)

東京の伝統芸能や食など東京の持つ芸術文化の魅力が最大限生かされ、旅行者と都民とが交流する都市

D
(環境)

温室効果ガスの排出削減や生物多様性の保全など環境により配慮した観光を推進する都市

本プランにおける政策目標（2030年）

国内旅行者に対する都民の受入意向

50%以上

外国人旅行者に対する都民の受入意向

50%以上

訪都国内旅行者消費額

6兆円

訪都外国人旅行者消費額

2.7兆円超

訪都国内旅行者数

6億人

訪都外国人旅行者数

3,000万人超

国際会議開催件数

世界3位以内

東京の文化的環境を楽しんでいる人の割合

70%

都内温室効果ガス排出量（2000年比）

50%削減

観光産業の復活に向けたロードマップ

計画期間における観光需要の回復フェーズを3段階に整理し、フェーズに応じて施策を展開

フェーズ1 観光関連事業者への支援と旅行需要回復に向けた取組

- ✓ 観光関連事業者の感染防止対策や経営力向上への取組を支援
- ✓ 東京への関心を繋ぎ止めるため、東京の魅力を国内外へ継続的に情報発信
- ✓ デジタル技術の活用や受入環境の整備、東京ならではの観光資源の磨き上げ

フェーズ2 旅行者意識の変化に対応しながら国内旅行者を誘致

- ✓ 国内向け^①「E-シヨ」や日本各地との連携により国内観光を活性化
- ✓ 観光時間の分散化や長期滞在、マイクロツーリズムを推進
- ✓ 都民の観光への理解を促進し、シビックプライドを醸成

フェーズ3 入国制限の緩和に合わせたインバウンド誘致

- ✓ インバウンドを呼び込むための本格的な海外^②「E-シヨ」を展開

